

7 傾向管理図

1 傾向管理図

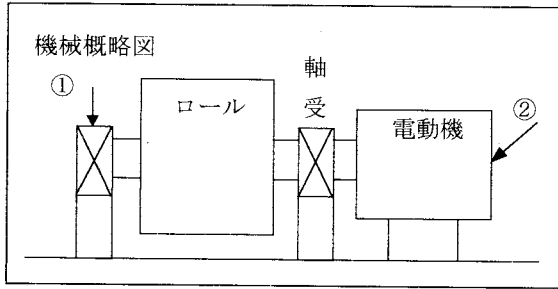
傾向管理図は、簡易測定器で測定された振動値を時系列で並べた図である。相対判定で使用し劣化の傾向を判断する。

参考図（次ページ以降）のように機械の概略、仕様、初期状態での振動値を記入する。

傾向管理図は、

1. 時間経過での傾向をとらえられる。
2. データの変化がよく分かる書式である。
3. 判定用の振動限界値が記入してある。
4. 異常の状態や保全作業についての記入ができる。

簡易診断 傾向管理シート



工場名称

第2部品工場

設備名称

曲げローラ

初期値

V方向① 速度 0.2 加速度 0.1

A方向② 速度 0.1 加速度 0.05

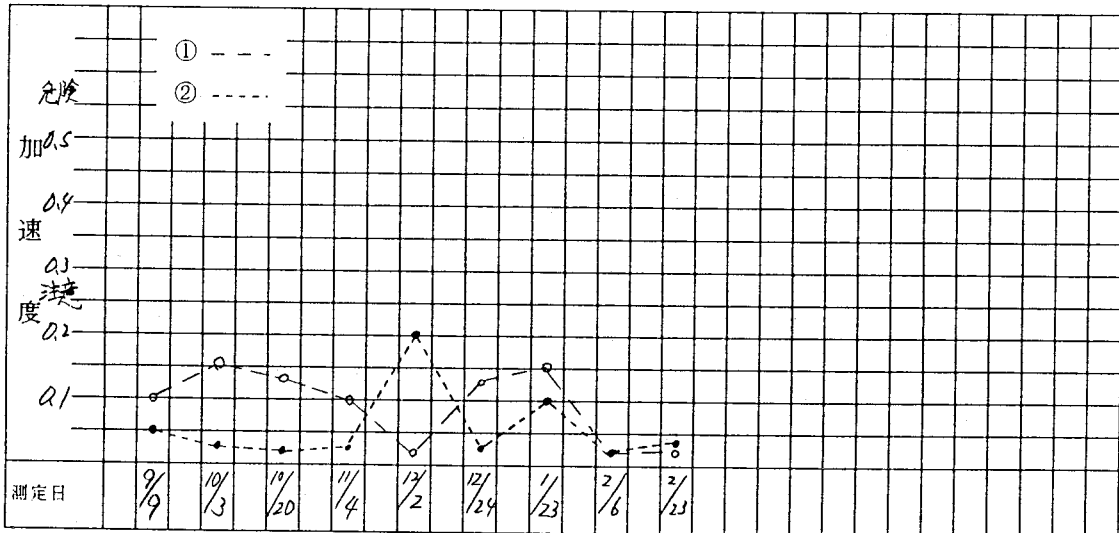
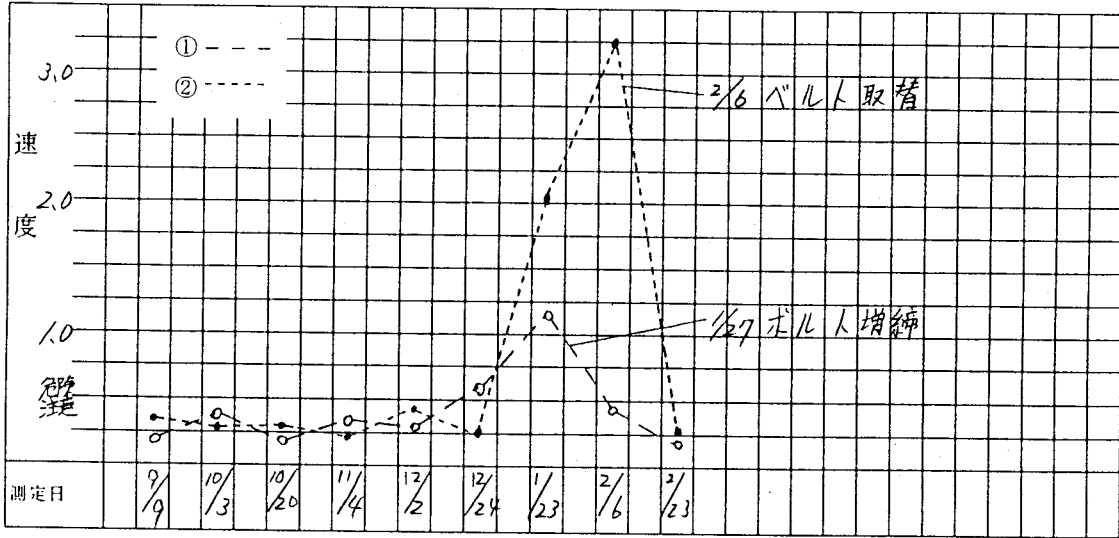


図7-2 劣化傾向管理の例

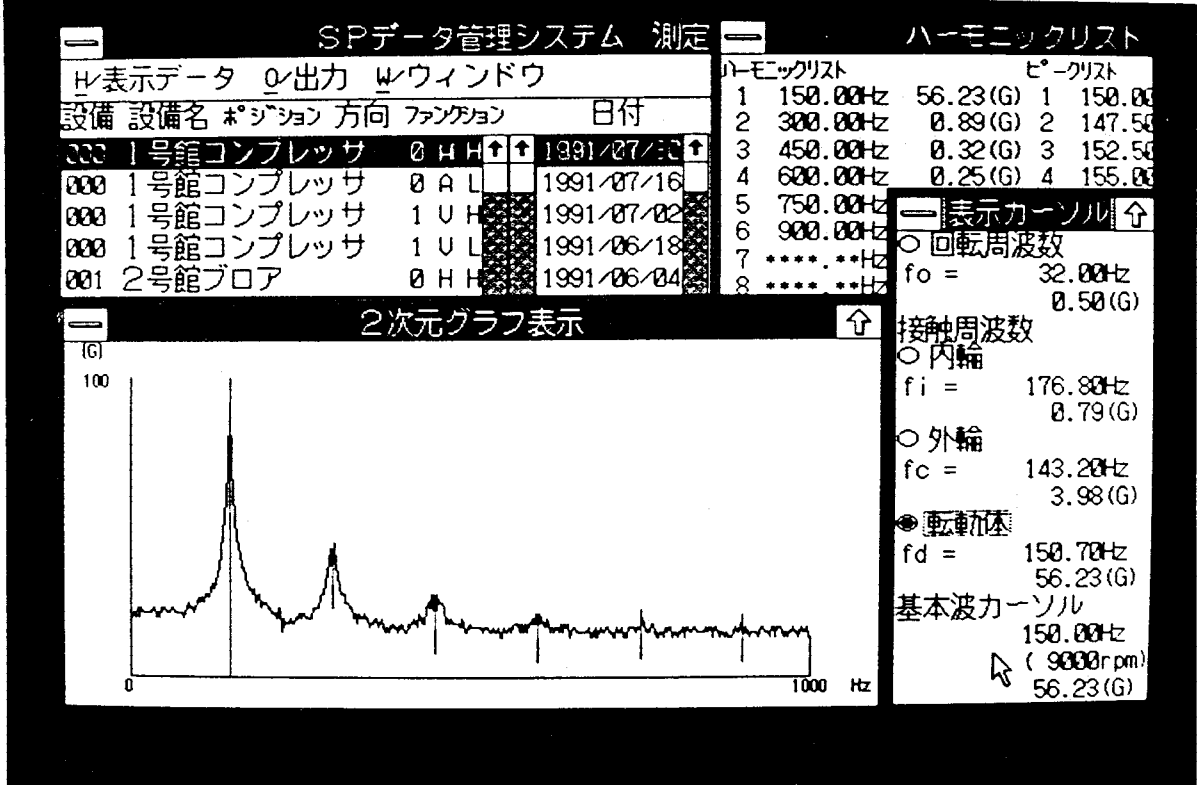


図7-3 パソコンによる傾向管理図の作成例